

行政評価シート

事務事業名	地域担い手育成総合支援事業			事業開始年度	
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農政係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	I. 多様な担い手の育成

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	認定農業者の経営改善を支援するとともに、新たな地域営農スタイルを確立する集落営農を推進するため、認定農業者等が行う設備投資に要する経費の一部を助成、認定農業者協議会の活動を通して、担い手農業者の経営の安定を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	(いずれも令和元年度) ・認定農業者育成事業 14,730千円 ・認定農業者協議会補助 200千円
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	認定農業者数			指標の単位	件
指標の説明	市において基盤法に基づく農業経営改善計画の認定を受けた農業者・法人等				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	400	430	420	425	430
実績(見込)値	425	416	411	405	399
達成度(%)	106%	97%	98%	95%	93%
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	特に育成事業については活用を希望する農業者が毎年一定数存在しており、認定農業者制度に取り組む誘因の一つとなっているが、高齢化に伴う規模縮小等による制度からの離脱による減少が増加傾向にある。協議会においては、先進地視察研修や会員間の相互交流が図られている。				所管課評価
					C

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	育成事業をはじめとした市事業のほか、認定農業者が要件となっている各種国県事業に取り組むための手段であり、農業経営の改善・安定にも資するものである当該制度について、さらなる周知を図る。

行政評価シート

事務事業名	団体営農道整備事業(永田原セ七地区)		事業開始年度	平成30年度	
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅱ. 農業用施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	松川農免道路と原セ農免道路を結び、福島方面から大玉、本宮方面に通じる重要幹線農道として地域間交流による活性化が期待できるとともに、農業用車両の通行路として農作物の荷傷みを防ぎ、二次輸送が効率的に行われることにより、農業の近代化と農業経営の合理化を目指す。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	農道整備事業(永田原セ2期地区)道路改良工事 全体事業費 257,625千円 全体計画 延長 L=745.0m 幅員 W=5.0m(6.0m) 事業主体 二本松市土地改良区(H12~H29) 二本松市(H30~R3)
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	農道整備道路改良			指標の単位	m
指標の説明	施工予定延長に対する進捗状況				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値			104	150	189
実績(見込)値			104	240	
達成度(%)			100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	年次計画に基づき早期完成に向けて事業を進め、令和3年度末に、L=745mの整備を完了する見通しである。 全体計画に対する進捗率(改良完成 R2年度末) 533m/745m=71.2%				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	年次計画に基づき、農道の早期完成に向け事業を進めることにより、令和3年度末に整備を完了する見通しであり、地域間をつなぐ道路網整備の一環として、引き続き年次計画に基づき整備促進を図る。

行政評価シート

事務事業名	油井堀用水路整備事業		事業開始年度	平成29年度	
担当部	安達支所	担当課	産業建設課	担当係	農政係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅱ. 農業用施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	油井堀上流部の土側溝部は、度々の冠水により農地に被害を及ぼしている。用水路を整備することにより、水害を防止し水田経営の効率化を図ることで、農業経営の合理化を目指す。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	施工場所: 中ノ目地内 用水路整備(全体計画 L=570m)	H29年度 基本設計	H30年度 出来高129m	H31年度 出来高194m
------	-----------------------------------	---------------	------------------	------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①					指標の単位	
指標の説明						
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
目標値	事業レベルの目標値設定がなじまない事業					
実績(見込)値						
達成度(%)						
指標名②					指標の単位	
指標の説明						
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
目標値						
実績(見込)値						
達成度(%)						
【目標に対する進捗状況】						
【費用対効果】						
【説明】					所管課評価	
					—	

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	令和2年度の完成を目標に事業を進めてきたが、工事費が高騰しており、また当初想定していなかった作業も生じたため、事業費が拡大し、年度内の完了は不可能となった。今後、国の補助金も見込めないことから、事業費を縮小できるよう施工方法を考慮し、令和4年度の完了を目標に事業継続していく。

行政評価シート

事務事業名	林道施設長寿命化修繕事業			事業開始年度	
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅱ. 農業用施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	老朽化が進む林道橋の急速な修繕費増大を防ぎ、個別施設計画に基づき必要な時期に適切な修繕を実施することにより、林道施設の長寿命化を図り、コストを軽減した維持管理・更新等を実施する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	林道施設の個別施設計画(橋梁)を平成30年度に策定し、今後の林道施設長寿命化修繕事業の実施に向けた調査を行う。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	林道橋長寿命化修繕			指標の単位	橋
指標の説明	施工予定橋梁箇所に対しての進捗状況				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	林道パトロールにおける状況確認と事前調査を行った。令和元年度の台風災害復旧事業により橋梁の通行が必要であるため、事業開始年度の調整を行う。				所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	林道橋点検と個別施設計画により、予防保全の観点から補修が必要な3橋(行人・天王・信田)の修繕実施の必要があることから、事業を継続し林道施設の長寿命化を図る。

行政評価シート

事務事業名	防災重点ため池整備事業			事業開始年度	R2
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅱ. 農業用施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	防災重点ため池の耐震性調査を行うことにより、施設機能の適切な維持・補強に向けた対策の必要性の判断する。また、ハザードマップを作成し公表することにより、市民の迅速な避難行動の促進と防災意識の向上を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	防災重点ため池の耐震性調査を行う。 防災重点ため池のハザードマップを作成し、公表する。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	事業レベルの目標値設定がなじまない事				
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】					
【費用対効果】					
【説明】					所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	国の方針に基づき、防災重点ため池の耐震性調査とハザードマップ作成を完了する必要があるため、今後も継続して事業を行う必要がある。

行政評価シート

事務事業名	農業水利施設長寿命化対策事業			事業開始年度	R2
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅱ. 農業用施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	受益面積100ha以上の基幹的農業水利施設について、機能保全計画を作成し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	基幹的農業水利施設の機能保全計画を作成する。
------	------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	事業レベルの目標値設定がなじまない事				
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】					
【費用対効果】					
【説明】					所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	国が平成26年に策定したインフラ長寿命化計画により、すべての基幹的農業水利施設の機能保全計画作成が完了する必要があるため、今後も継続して事業を行う必要がある。

行政評価シート

事務事業名	多面的機能支払事業			事業開始年度	平成26年度
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農政係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅲ. 環境に配慮した農林業の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対する支援を行い、地域資源の適切な管理保全を推進する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	(いずれも平成29年度) ・農地維持支払・資源向上支払 44,518千円 ・施設の長寿命化 7,109千円
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	多面的機能支払事業取組集落数			指標の単位	集落
指標の説明	多面的機能支払事業に取り組む集落				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	64	61	61	61	61
実績(見込)値	60	60	60	54	56
達成度(%)	94%	98%	98%	89%	92%

指標名②	多面的機能支払事業取組面積			指標の単位	ha
指標の説明	多面的機能支払事業に取り組んでいる面積				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	1,250	1,236	1,210	1,210	1,210
実績(見込)値	1,224	1,207	1,205	1,122	1,163
達成度(%)	98%	98%	100%	93%	96%

【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった

【説明】	当該制度については地域保全の一助となっており、新たに取り組む集落がある一方で、参加者の高齢化等に伴い、継続しない集落もあった。	所管課評価
		B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
----------	--------

【説明】	取り組みをしていない集落への制度周知を進めるとともに、事務の煩雑さが原因で制度を継続しない意向を示している集落があることから、外部委託等によって継続を促し、事業取組集落・面積の維持に繋がるよう取り組む。
------	---

行政評価シート

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業		事業開始年度	平成12年度	
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農政係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅲ. 環境に配慮した農林業の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	生産条件が不利な地域の一団の農用地において、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を継続的、効果的に発揮させ、さらには地域の生産活動において自立的かつ継続的な農業生産活動の体制整備に向けた取り組みを図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	(令和元年度) ・直接支払事業 177,853千円
------	------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	中山間地域等直接支払制度事業取組面積	指標の単位	ha		
指標の説明	中山間地域等直接支払制度事業に取り組んでいる面積				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	1,243	1,248	1,254	1,260	1,265
実績(見込)値	1,248	1,253	1,253	1,255	1,207
達成度(%)	100%	100%	100%	100%	95%
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	当該制度に取り組んでいる集落については、農地の保全管理等で一定の効果を挙げている一方で、集落協定参加者の高齢化等に伴い、面積が減少する集落もあった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	当該制度は今年度から第5期対策(～令和6年度)として開始した。事務の煩雑さにより継続困難を訴える傾向があることから、農用地の維持・管理を継続するためにも、外部委託等も活用しながら取組面積の維持・拡充を図る。

行政評価シート

事務事業名	有害鳥獣捕獲活動事業			事業開始年度	
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅲ. 環境に配慮した農林業の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	二本松市鳥獣被害防止計画に基づく被害防止施策を適切に実施するため、農林水産業等に係る被害の原因となっている鳥獣の捕獲等を行い、住民の生命、身体又は財産に係る被害を防止する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	二本松市鳥獣被害対策実施隊を運営し、被害対策(個体数の調整)を行う。 二本松市有害鳥獣対策協議会と連携し、被害対策(電気柵設置等)を行う。 電気柵購入補助を行う。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	イノシシによる農作物の被害額			指標の単位	千円
指標の説明	鳥獣による農作物被害集計表(被害防止計画対象鳥獣のみ)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	2,050	1,845	1,640	1,435	1,230
実績(見込)値	4,098	2,420	1,276	955	
達成度(%)	50	76	129	150	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	被害額が年々減少しており、費用対効果は高いと考える。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	有害鳥獣の農作物への被害は、現在も続いており、今後も事業を継続するのが適切である。

行政評価シート

事務事業名	有害鳥獣処理施設整備事業			事業開始年度	平成29年度
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農地林業係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備
取組事項	Ⅲ. 環境に配慮した農林業の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	捕獲した有害鳥獣の処理を行う二本松市鳥獣被害対策実施隊の負担軽減と環境への配慮も含めた新たな処理方法の検討を行う。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣処理施設に関する情報収集 ・当市の現状に合った最も効果的な処理方法の選定 ・施設整備の検討
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①					指標の単位	
指標の説明						
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
目標値	事業レベルの目標値設定がなじまない事業					
実績(見込)値						
達成度(%)						
指標名②					指標の単位	
指標の説明						
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)	
目標値						
実績(見込)値						
達成度(%)						
【目標に対する進捗状況】						
【費用対効果】						
【説明】					所管課評価	
					—	

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	縮小
【説明】	<p>他市の事例の視察を行い、実施隊との協議を行い検討してきたが、実施隊からは、捕獲場所の近くに埋設の方が効率的で負担が少ないとの考えが示されているため、今後は、情報収集を中心に行い、施設整備の検討は必要性が生じた際に改めて行うこととする。</p>

行政評価シート

事務事業名	原発事故対策事業			事業開始年度	平成25年度
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農産振興係
1. 事業概要					
基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち				
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します				
施策 (手法)	①農業担い手の育成と生産基盤の整備				
取組事項	IV. 安全安心な農産物の生産				
2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】					
事務事業の目標と見込まれる成果	放射性物質により利用が困難となった農業系汚染廃棄物について、継続的な一時保管場所を賃貸借により確保し、一時保管所の巡回を3ヶ月毎に1回行い維持管理を図る。 水田、牧草地、大豆ほ場への放射性物質の吸収抑制資材を調達、配布し吸収抑制対策を図る。また、除染後牧草の土壌改善に必要な石灰資材を調達、配布し品質・生産性回復対策を図る。				
3. 実施内容【DO(実行)】					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業系汚染廃棄物対策事業指定廃棄物及び一般廃棄物の一時保管所の巡回管理 一時保管所賃貸4箇所、巡回箇所数：指定23箇所、一般65箇所 年4回 水田、牧草地、大豆ほ場の放射性物質の吸収抑制対策の実施 水稲…面積：668ha、資材及び数量：塩化カリ6,884袋/20kg、ハームアッシュEM9袋/20kg 牧草…面積：305ha、資材及び数量：塩化カリ3,786袋/20kg 大豆…追加施用が無くなり、戸別の肥培管理の徹底による対策 除染後牧草の品質・生産性回復対策の実施 牧草…面積：238ha、資材及び数量：苦土石灰11,155袋/20kg 				
4. 事業の分析【CHECK(評価)】					
指標名①	安全安心な農業系汚染廃棄物一時保管所の維持管理			指標の単位	箇所数
指標の説明	農業系汚染廃棄物一時保管所の確実な確保と適正な維持管理を行うことで、人と農地の安全性を示す。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	138	138	135	136	136
実績(見込)値	138	138	136	88	65
達成度(%)	100	100	99	155	209
指標名②	安全安心な水稲、大豆、牧草の生産			指標の単位	点数
指標の説明	米の全量全袋検査及び大豆、牧草のモニタリング検査による放射性セシウムの基準値100bq/kg超を出さないことで安全性を示す。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	0	0	0	0	0
実績(見込)値	0	0	0	0	0
達成度(%)	100	100	100	100	100
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	農業系汚染廃棄物の保管状況を定期的に確認し安全な管理を行った。 カリ資材の追加施用により農産物が放射性物質セシウムを吸収する移行を抑制し安全な農産物の生産に繋がった。				所管課評価
					B
5. 今後の方向性【ACTION(改善)】					
【事業の方向性】	縮小				
【説明】	<p>農業系汚染廃棄物対策事業は、安達地方仮設焼却施設(減容化処理)への搬出により令和3年度末で廃止予定であるが、残置物の処分等の新たな対応を図る。</p> <p>農産物の放射性物質の吸収抑制対策事業は、モニタリングにより安全性が確保されているが、あくまで抽出検査のため生産者個々の肥培管理の徹底を図る。</p> <p>また、台風等による農地への土砂流入等に伴い、カリ不足が懸念される場合は、必要に応じて吸収抑制対策を図る。牧草の放射性物質吸収抑制のカリ資材等の追加施用等の対策については、県の指示により継続する。</p>				